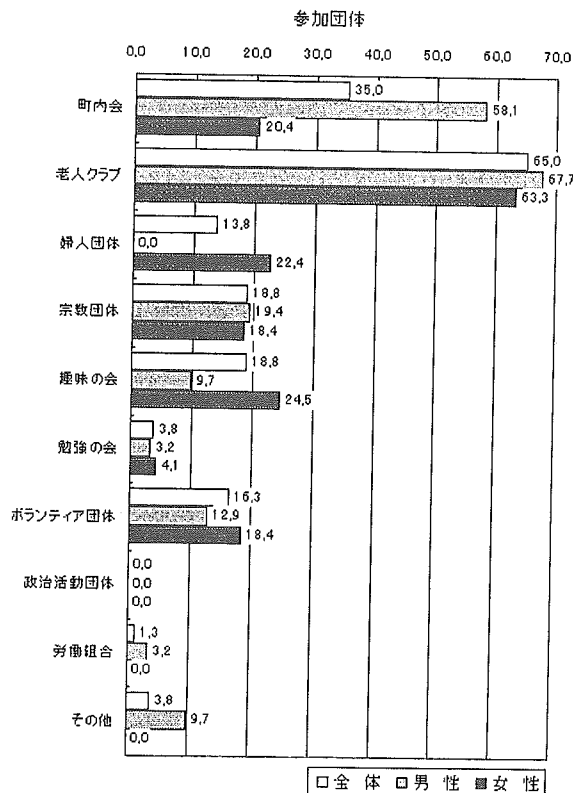


現在、老人クラブやその他の団体活動に参加しているかを聞いた。

「参加している」47.1%、「参加していない」49.7%で約半々である。男性と女性では全く反対の動向が見られ、女性の5割以上が「参加」に対し、男性の5割以上が「不参加」である。家族構成では、「夫婦家族」と「娘家族と同居」に参加率が低い。特に后者は後期高齢の虚弱老人が多いためと見られる。「夫婦家族」の中で社会参加が少ないケースは、夫婦間の狭い関係に閉じこもるリスクもある。

「参加している」と答えた80名(男31名、女49名)の参加団体の種類は(図表4-5)のとおりである。最も多いのが老人クラブで65.5%、次が町内会で35%と少ない。しかし、男女によって大きな違いがある。男性は老人クラブや町内会等、従来型の官製的な団体活動が中心であるが、女性は男性に比べ、趣味やボランティア活動など、自発的で自由な活動参加者の割合が高い。個々にもジェンダー差が見られる。

図表4-5



地域社会の諸活動に参加する場合、その受け皿となる場所や行事・プログラムがなければ気持ちがあっても参加できない。そこで「地域に気軽に集まれる場所＝ミーティング・プレイスや住民の相互扶助の組織や集まり」の有無を聞いた。

「ある」と答えたのが35.5%、「ない」は24.5%、「わからない」は23.9%であった。

「ある」と答えた55人(男性25人、女性29人、不明1人)にそこでの活動に参加しているかどうかを聞いたところ「参加している」は約6割であった。男女差をみると、男性では5割強、女性では6割強が積極的に参加していた。

居住地区による違いはあるだろうか。

(図表4-6)にみるように、団体活動に参加している割合と集会所・組織の有無に対する情報をもっているかどうかには関連は見られない。しかし、集会所・組織の有無についての回答割合は地区によって異なっている。回答者が多い、望来や厚田でさえ、「無い」と答えている人が3割近くおり、「わからない」と合わせると5割を超える。これらの人々は、集会所やコミュニティセンターの存在を知らないのか、そこで行なわれているプログラムや集会に参加したことがなく、行政や住民の地域活動の場としての認識がないためと思われる。また、例えば、聚富のリハビリ教室や望来の介護教室など、自治体の介護予防事業の対象者でない人々も多いためと思われるが、「集会所ではあんなことをやってる」という情報があるのと無いのとは、いざという

時の安心感などことなるのではないだろうか。老人クラブなどの参加者が減少する中で新しい地域住民の活動の活性化も今後の自治体の課題である。

図表 4 - 6

| 社会参加状況 |         | (上段：人数 下段：比率)  |   |                                      |   |        |                                 |                       |      |       |
|--------|---------|--|---|--------------------------------------|---|--------|---------------------------------|-----------------------|------|-------|
|        |         | 聚 富  | 望 来   | 字正利冠                                 | 古 漣   | 別 狩    | 字 発 足                           | 厚 田                   | その他  | 計     |
| 回 答 者  |         | 33   | 34  | 6                                    | 7   | 13     | 6                               | 46                    | 10   | 155   |
|        |         | 21.3   | 21.9  | 3.9                                  | 4.5   | 8.4    | 3.9                             | 29.7                  | 6.5  | 100.0 |
| 団体活動   | 参加している  | 23   | 19  | 4                                    | 3   | 7      | 4                               | 17                    | 3    | 80    |
|        |         | 69.7   | 55.9  | 66.7                                 | 42.9  | 53.8   | 66.7                            | 37.0                  | 30.0 | 51.6  |
|        | 参加していない | 10   | 15  | 2                                    | 4   | 6      | 2                               | 29                    | 7    | 75    |
|        |         | 30.3   | 44.1  | 33.3                                 | 57.1  | 46.2   | 33.3                            | 63.0                  | 70.0 | 48.4  |
| 集会所・助合 | ある      | 14   | 12  | 2                                    | 5   | 5      | 1                               | 15                    | 1    | 55    |
|        |         | 42.4   | 35.3  | 33.3                                 | 71.4  | 38.5   | 16.7                            | 32.6                  | 10.0 | 35.5  |
|        | ない      | 2  | 10  | 2                                    | 0   | 2      | 1                               | 12                    | 9    | 38    |
|        |         | 6.1  | 29.4  | 33.3                                 | 0.0   | 15.4   | 16.7                            | 26.1                  | 90.0 | 24.5  |
|        | わからない   | 8  | 8   | 2                                    | 1   | 4      | 2                               | 12                    | 0    | 37    |
|        |         | 24.2   | 23.5  | 33.3                                 | 14.3  | 30.8   | 33.3                            | 26.1                  | 0.0  | 23.9  |
|        | 無回答     | 9  | 4   | 0                                    | 1   | 2      | 2                               | 7                     | 0    | 25    |
|        |         | 27.3   | 11.8  | 0.0                                  | 14.3  | 15.4   | 33.3                            | 15.2                  | 0.0  | 16.1  |
| 集会所    |         | ふれあいセンター<br>虹ヶ原コミュニティ<br>センター  | 老人クラブ<br>交流センター<br>みなくる                                       | 正利冠集会所                               | 集会所   |        |                                 | 老人いこの家<br>字会          |      |       |
| 活動内容   |         | 長生会(老人クラブ)<br>リハビリ教室<br>虹ヶ原町内会<br>虹ヶ原町内会<br>虹ヶ原町内会<br>虹の会<br>婦人防火クラブ<br>町内会<br>はまなす町内会 | 老人クラブ(寿の家)<br>町内会<br>いきいき介護(みなくる)<br>老人クラブ(名木会)<br>ボランティアグループ | 古漣高砂老人クラブ<br>住民の懇親会<br>自治連合会<br>漁船部会 | 老人クラブ<br>婦人団体<br>さざなみ会<br>日赤奉仕団<br>女性団体<br>デイサービス | 病院に通う時 | 厚田老人クラブ<br>創価学会<br>アシア会(ボランティア) | 町内会<br>婦人会<br>社会福祉協議会 |      |       |

以上のように、対象者の方々が子どもや家族、親族とどのような交流を持ち、また、近隣や友人との交流はどのようなものか、また、地域社会（主にに居住地区）の諸団体の活動や集まりに積極的に参加しているかどうかを分析した。

男女の差や健康状態の差はあるものの、概ね家族・親族との関係は適度に距離をおきながらも疎遠ではなく、直接会ったり、電話連絡をしていることがあきらかとなった。また、隣近所との付き合いも互いに声を掛け合い、物のやりとりをし合う関係が多いこともあきらかとなった。気楽に訪ねあう友達も殆どの高齢者が持っていることも判明した。しかし、地域社会の諸活動にはそれ程積極的に参加はしておらず、外出頻度も少ないことも判明した。特に冬は半数の対象者が「閉じこもり状態」という結果である。これと関連するが、社会参加も半数であり、特に地域の諸行事の参加は地域によって大きく異なっていた。

高齢者は健康に対する不安も高いことから、介護予防的な体操や運動など自治体がセットした活動を行なっているところと行っていないところは社会参加とそれに付随する参加者の「楽しみ」や充実感などが異なっていると思われる。

以上のように、高齢者の社会関係と社会参加の全体像を把握することが出来たが、次には、個々の高齢者が、これらの種類の異なる関係をどのように「ネットワーク」として重層的に保有しているのかを捉えることが必要である。子どもとの関係が疎遠だけれど近隣や友人との交流が深い人もいれば、家族の依存関係は強いが、隣近所との繋がりが薄い人もいよう。このようなネットワークのあり方の違いは、何らかの手助けが必要な時の、サポートネットワークの基盤となるからである。このことは同時に行政にとって住民がどのようなインフォーマルなサポート資源を持っているのかを知り、有効なサービス供給を可能にする情報となるからである。

### ネットワーク類型

高齢者のネットワークタイプの析出に対し、イギリスのC. ウェンガー（注）のネットワークアセスメント票を厚田村用にアレンジして把握を試みた（附表1, 2）。

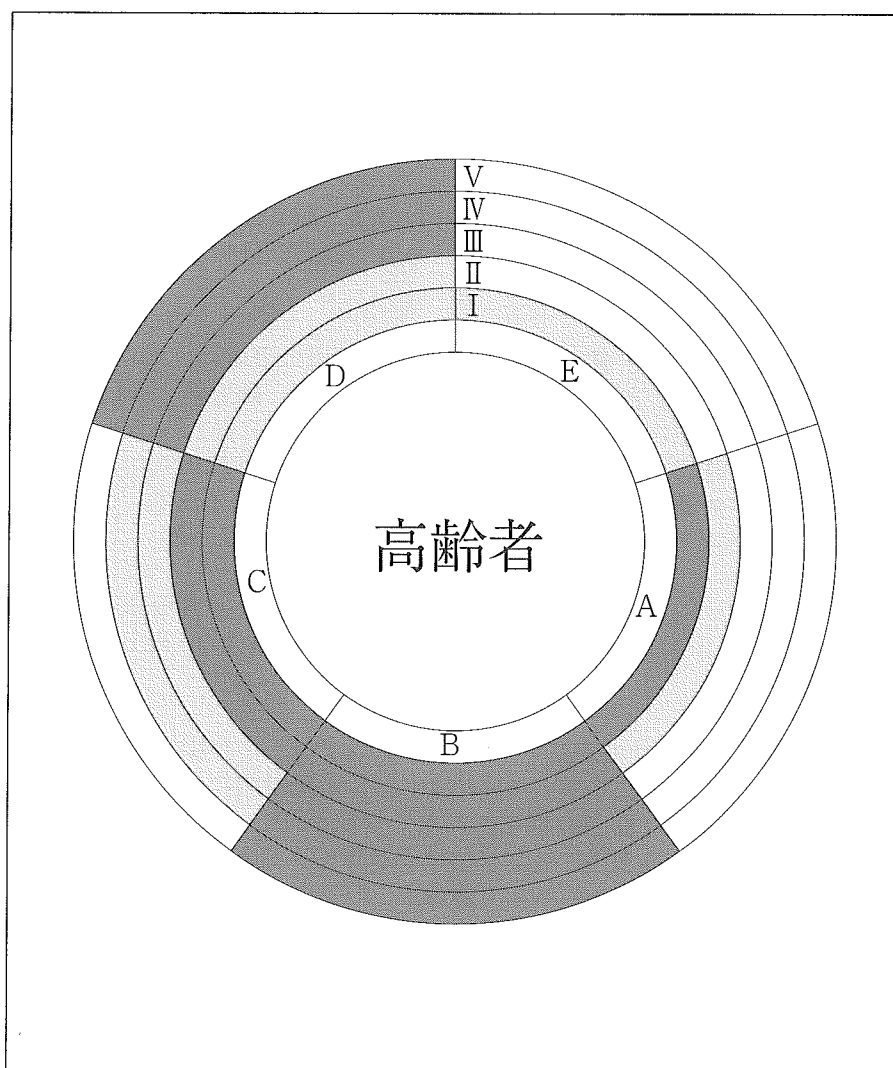
「子どもとの地理的距離」「子どもや親族と会う頻度」「友人の有無」「近隣との関係の程度」「地域社会の活動への参加状況」を独自の方法で組み合わせて個々人のネットワーク型を決めていった。

そうして、A から E の5つのネットワーク類型が析出された（図表4-7）。これらをわかりやすく図式化すると（図表4-8） のようになる。

（図表4-7）ネットワーク類型とその特色

- A：地域内親族限定関与・非社会参加型（配偶者・子ども・きょうだい等の親密な親族ネットに限定され社会参加無し）
- B：地域内全資源関与・社会参加型（親密な親族ネット、友人・近隣ネット等全資源ネット有り、社会参加有り）
- C：地域内資源関与・非社会参加型（Bと同様だが近隣ネットも弱く社会参加無し）
- D：非親族資源関与・社会参加型（子とのネットが無しあるいは弱い。友人・近隣ネット強く社会参加有り）
- E：孤立型（親族ネット及び友人・近隣ネット無しか弱い。社会参加も無し）

（図表4-8）ネットワーク型の社会関係の内容と強度



- I 配偶者・子ども・子どもの配偶者
- II きょうだい・親族
- III 近隣
- IV 友人
- V 地域社会への参加

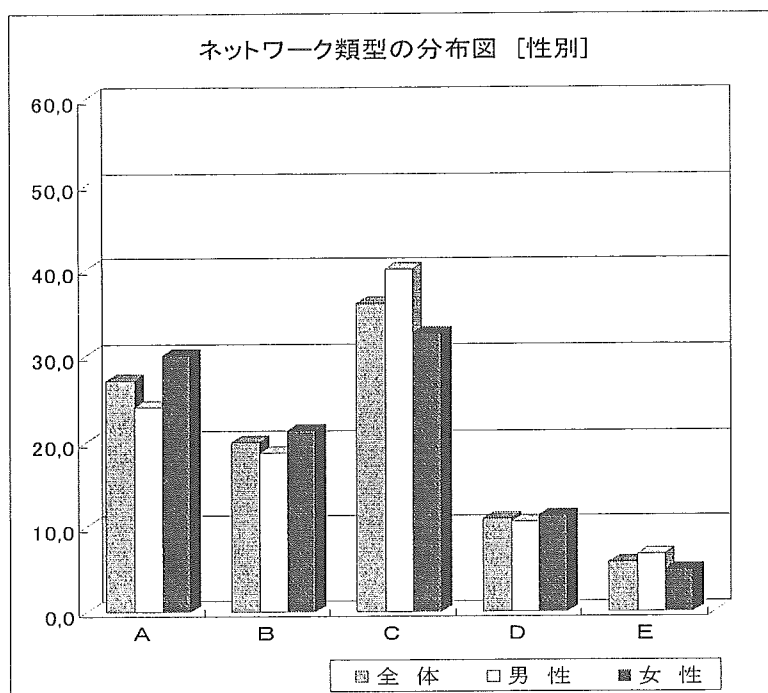
- (濃い) 交流が強い
- (薄い) 交流はあるが強くはない
- 交流はほとんどない

そのうえで、附表2の厚田村用のアセスメント表を使って、対象者1人1人のアンケート調査の回答を丁寧にはめた結果、図表4-9のようなネットワーク類型の分布が明らかとなった。

最も多いのがC型で36.1%、続いてA型が27.1%、B型が20.0%、D型が11.0%、E型は少なく5.8%である。男性にC型の割合が4割と高く、女性にA型の割合が30.8%と男性に比べ多い。

C型とA型が多いということは何を意味するだろうか。人々は、子ども・配偶者との関係をまず第1として、それに親族が加わった、いわゆる身内の強固で安定した絆で結ばれていることである。しかしながら、身内や血縁を超えた地縁的関係が希薄なので、狭い関係にクローズされがちで、逆にそこに亀裂が入った時の他の選択肢が弱い、というデメリットがある。また、行政からはそのサポート関係も見えにくいという難点がある。

(図表4-9)



それぞれの類型の基本的属性との関連は以下の通りである。

地域内親族限定型A：ネットワークが配偶者、子どもとその配偶者、きょうだい中心。

夫婦のみ、子との同居（特に娘家族）に多い。女性未亡人、収入少ない、虚弱Gが多い。家族・親族以外の社会的接触が少ないため何かあった場合家族、特に配偶者の負担が高くなる恐れがあり、E型に次いでリスクが高い。

地域内資源積極的参与型B：ネットワークが多様な種類にまたがっている。社会参加、地域への関わりも活発。健康な高齢者。

地域内資源消極的参与型C：積極的参与型に比べ、近隣・友人との交流はあるけれどもそれほど親しくもなく、社会参加や地域との関わりは薄い。夫婦のみ、男性に多い。

非親族資源参与型D：子どもや親族との関係は疎遠だが近隣・友人とのネットワークを持ち、社会参加も活発である。子どもが近くにいない、健康な、夫婦のみ世帯に多い。その場合は配偶者がサポート者として選択される。

孤立型E；子ども・親族、友人・近所付き合いも疎遠である。社会参加や趣味も少ない。

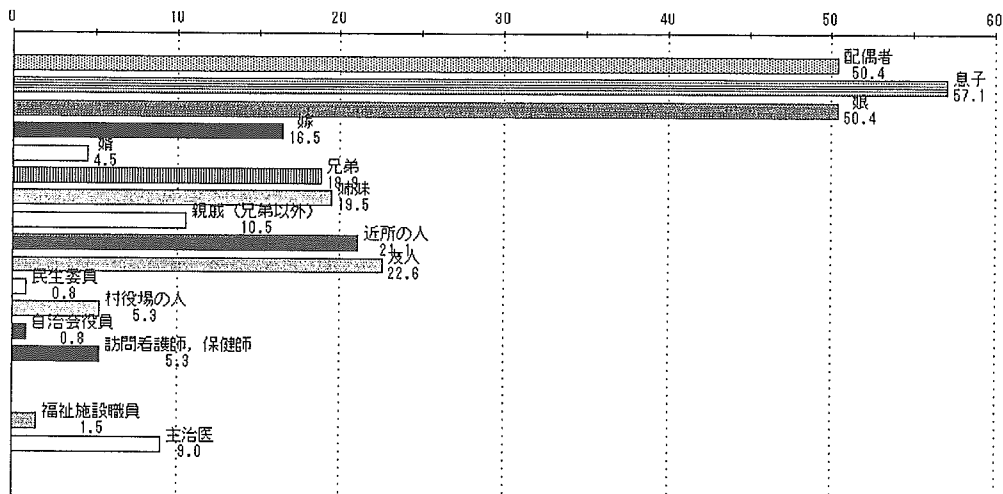
ひとり暮らし、夫婦のみに多い。虚弱老人に多い。子どもがいないか、いても近くにいないか疎遠である。

## サポートネットワーク

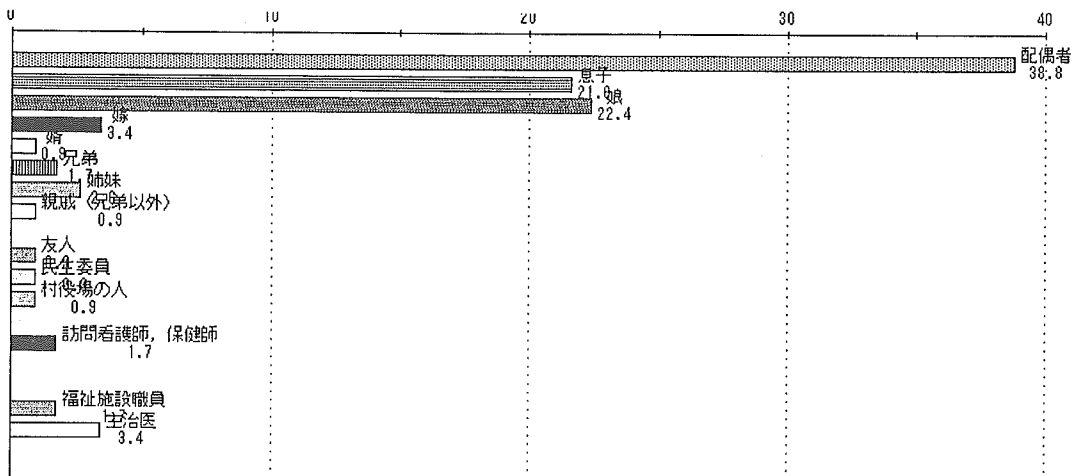
個々人が自力で解決が困難な問題にぶつかった時に依拠するのがサポートネットワークであり、ネットワークの核心でもある。本調査では、「悩み事の相談相手」「ちょっとした怪我や病気のとき世話を頼める人」「寝たきり等介護が必要になった時に頼める人」の3つの場面を想定した。サポートネットワーク資源として、インフォーマルな資源（配偶者、子ども、子どもの配偶者、親族等の血縁の資源、および近隣、友人等の地縁の資源）のみではなくフォーマルな資源（民生委員や村の職員、医師や保健婦等の医療保健の専門スタッフ、ケアマネやヘルパーなどのケアワーカー、有料サービス等）から当てはまる人を全て記入してもらった。

「悩み事の相談相手」は87.1%が「いる」と答えた。相手は「息子」「配偶者」「娘」が圧倒的に多い。その中でも「最も頼りにする人」を限定すると「配偶者」が突出する。これは、まだ配偶者がいる段階では、子どもより配偶者が第1に選択されるいわゆる近代的な「夫婦家族」が一般的になっているからであろう（図表4-10）。

図表4-10 a

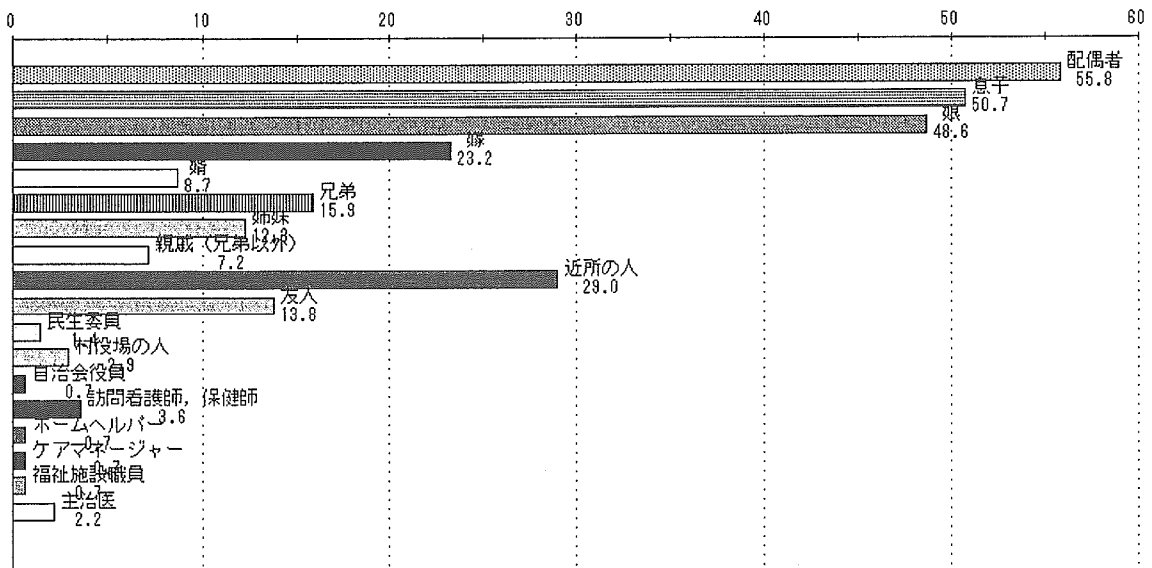


図表4-10 b



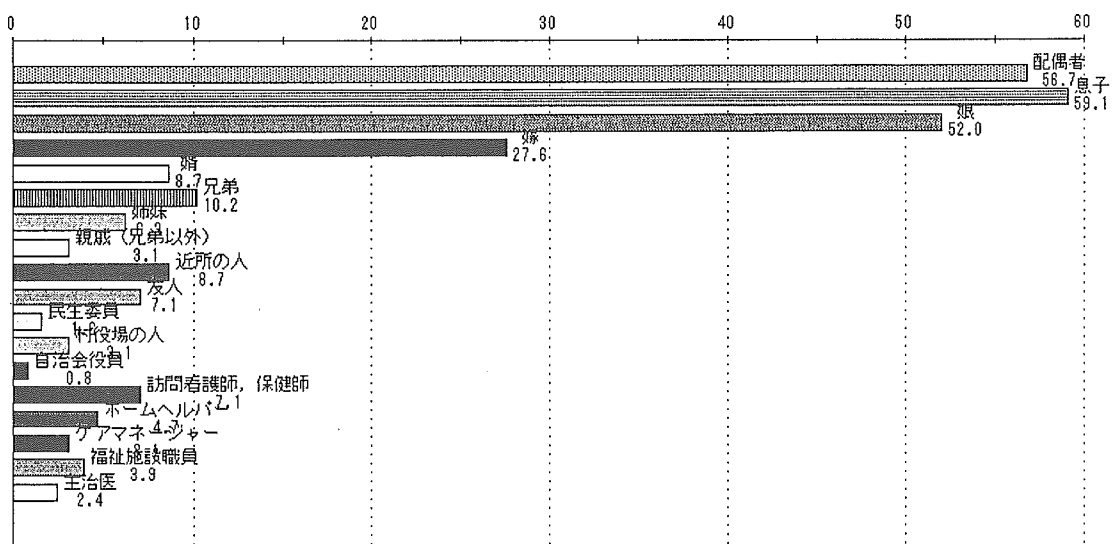
「ちょっとした怪我や病気のと看世話を頼める人」は「いる」が86.5%で、相手はやはり「配偶者」「息子」「娘」が圧倒的に多いが、25%の人が「近所の人」をあげているのが特徴的である。近隣関係の助け合いが機能している証である。また「嫁」も20%である（図表4-11）。

図表4-11



「寝たきり等介護が必要になった時に頼める人」では、「いる」が78%と少し少なくなり、「いない」が13%いた。相手はやはり「息子」「配偶者」「娘」が圧倒的に多いが、「嫁」が次ぎに選択されているのが特徴的である。他の人々が選択されるのは殆ど無くなる（図表4-12）。

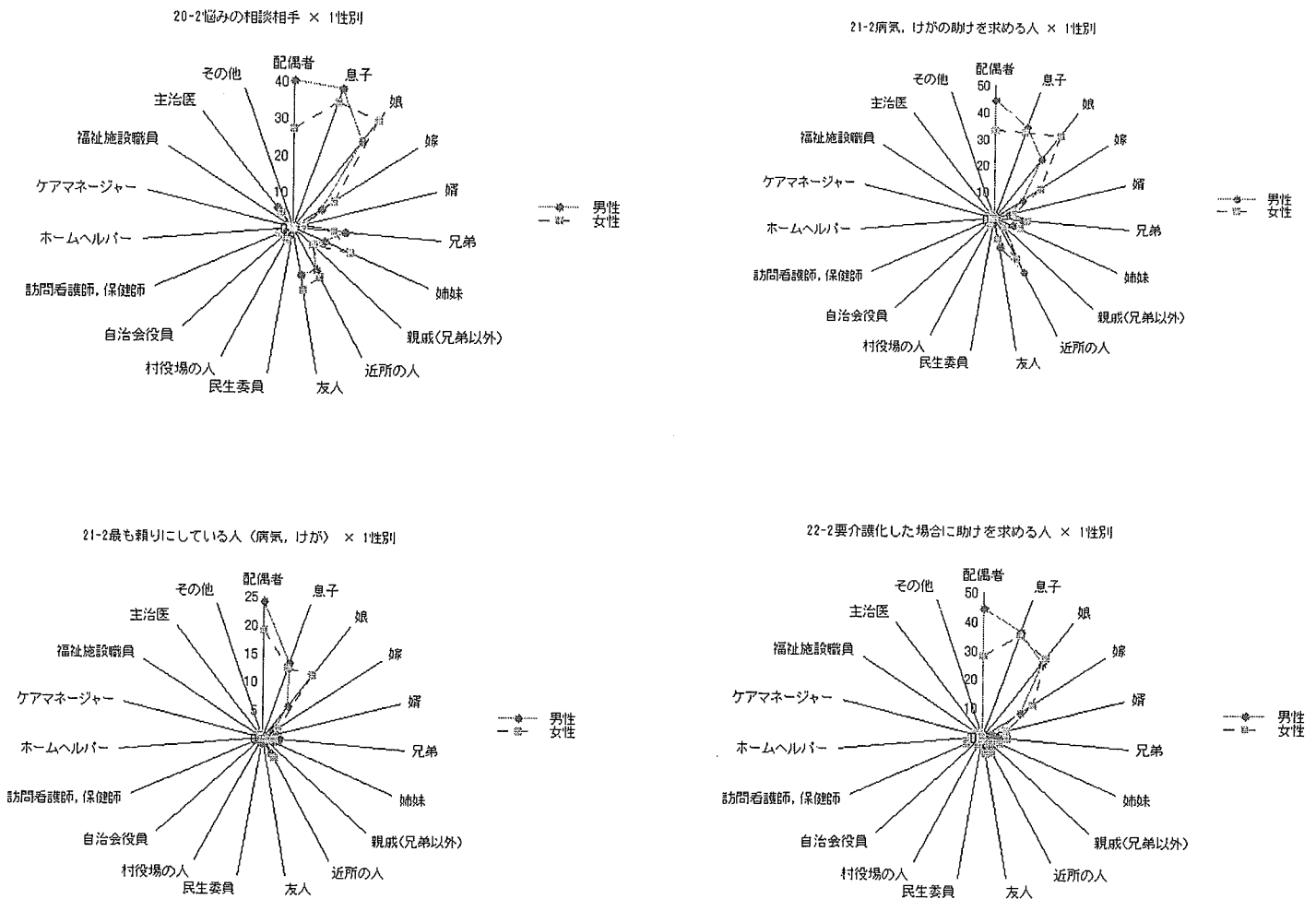
図表4-12



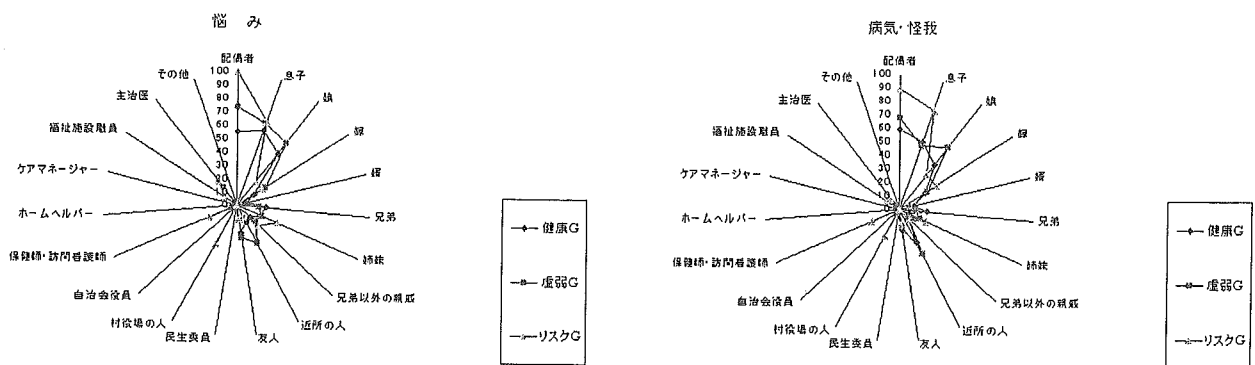
以上のように、全体的には、サポート資源として期待されているのは、「近代的家族」プラス嫁の範囲に限られてくる。フォーマルなサポート資源への期待は、まだ2次的なものともみることができる。

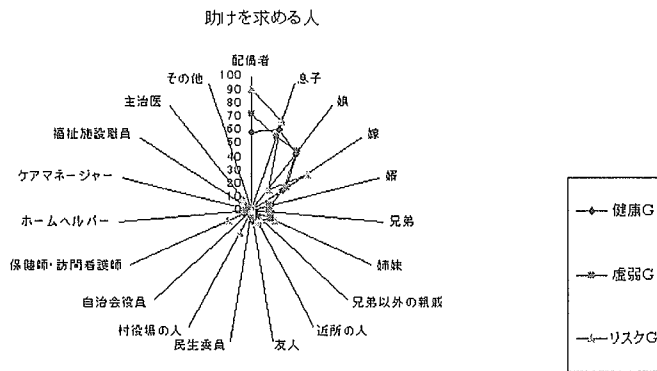
更に幾つかの要因とクロスをレーダー・チャートで表した。

性別サポートネットワーク (図表 4-13 ①~④)

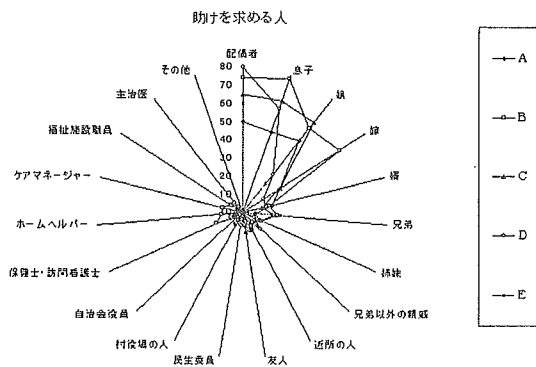
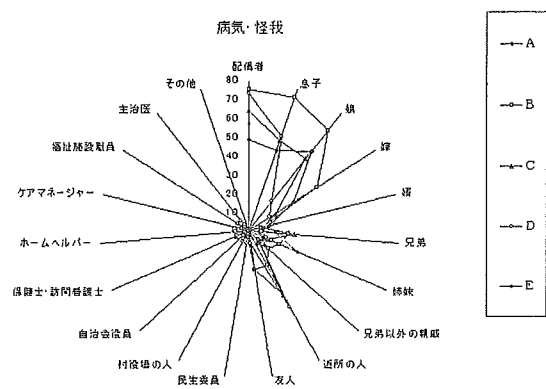
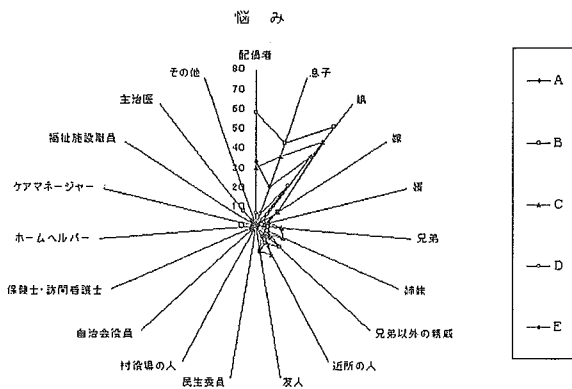


健康G別サポートネットワーク (図表 4-14 ①~③)





ネットワーク類型別サポートネットワーク (図表4-15①~③)



(注) イギリスのウェールズ大学のクレア・ウェンガーのネットワーク類型は 1979 年から 1999 年にかけてのウェールズ地方のバンゴール (Bangor) における長期的な老化研究の中で開発されたものであり、類型を把握するためのアセスメント票は高齢者ケアに関わる実践家・専門家によって活用されることをめざしたものである。

ウェンガーは、サービス供給におけるネットワーク類型の重要性を以下のように述べている。第 1 に、高齢者のウェル・ビーイングはネットワーク類型に影響を受けている。第 2 に、そのためネットワーク類型の定義



は、保健・社会ケアの供給者にとっての診断の有効な手段である。第3に、全住民のネットワーク類型の分布は、インフォーマルサポートの可能性とフォーマルサポートの利用に重要な意義を持つ。このように、個々のネットワーク類型の把握とコミュニティ全体におけるそれらの型の分布は、個々人およびインフォーマルケアラーへの個別的な有効なサービス提供に役立つとともに、コミュニティのサポートニーズを予測する手段として役立つとされる(C., Wenger, 1994 *Support Networks of Older People: A Guide for Practitioners* , Centre for Social Policy Research & Development , University of Wales, Bangor)

## 5. 日常生活－現状と問題点

### 食料品・日用品の購入

食料品・日用品の購入に関して、どこで購入するか当てはまるもの全てを答えてもらったところ「村内の店」の66.5%が最も多かったが、「村外の店」も65.2%とほぼ同程度であった。

「販売車」「子どもが届けてくれる」はそれぞれ13.5%、11.0%であった。購入の際の交通手段で最も多かったのは「車」68.4%で、以下「徒歩」31.6%「バス」20.6%「自転車」7.7%、「タクシー」1.9%であった。調査対象地である旧厚田村は12の地区（集落）から構成されているが、場所によっては地区内に食料品・日用品を購入できる小売店がなく、やむなく村外の店舗に買い物に出かけている世帯も少なからず存在していると考えられる。

男女別に見ると自動車を使っている男性は78.7%、女性は58.8%であり、バスやタクシー等の公共交通を使っている男性は12.0%、女性は32.5%とやや差があった。また、「車」を交通手段に挙げた人でその主な運転者について尋ねたところ、全体では「自分」30.3%が最も多く、次に「息子」21.9%、「配偶者」17.4%、「娘」12.9%、「嫁」11.6%、「婿」3.9%であった。男女別では、自分で運転すると答えた男性が57.3%であったのに対して女性では5.0%、配偶者が運転すると答えた男性が8.0%であったのに対して女性26.3%であった。車の運転に関しては、後期高齢者となり運転に不安を覚えることがあっても、もしマイカー運転を放棄してしまうと生活が成り立たなくなってしまうために、仕方なく運転を続けている人も含まれていると考えられる。この点から販売車、子どもによる支援は住み続けを支える上で重要な意味を持っていることが推察される。

図表5-1 食料品・日用品の購入場所

| 上段:度数<br>下段:% |    | 24-1食料品・日用品の購入場所 |            |             |             |            |           |          |
|---------------|----|------------------|------------|-------------|-------------|------------|-----------|----------|
|               |    | 合計               | 販売車        | 村内の店        | 村外の店        | 子どもが届けてくれる | その他       | 無記入      |
| 1性別           | 合計 | 155<br>100.0     | 21<br>13.5 | 103<br>66.5 | 101<br>65.2 | 17<br>11.0 | 10<br>6.5 | 4<br>2.6 |
|               | 男性 | 75<br>100.0      | 6<br>8.0   | 52<br>69.3  | 56<br>74.7  | 6<br>8.0   | 5<br>6.7  | 1<br>1.3 |
|               | 女性 | 80<br>100.0      | 15<br>18.8 | 51<br>63.8  | 45<br>56.3  | 11<br>13.8 | 5<br>6.3  | 3<br>3.8 |
| 2-1-2前期/後期    | 合計 | 151<br>100.0     | 19<br>12.6 | 102<br>67.5 | 99<br>65.6  | 17<br>11.3 | 10<br>6.6 | 4<br>2.6 |
|               | 前期 | 55<br>100.0      | 5<br>9.1   | 32<br>58.2  | 46<br>83.6  | 3<br>5.5   | 2<br>3.6  | 2<br>3.6 |
|               | 後期 | 96<br>100.0      | 14<br>14.6 | 70<br>72.9  | 53<br>55.2  | 14<br>14.6 | 8<br>8.3  | 2<br>2.1 |

図表5-2 買い物の交通手段

| 上段:度数<br>下段:% |    | 24-2買い物の交通手段 |            |            |          |             |            |          |           |
|---------------|----|--------------|------------|------------|----------|-------------|------------|----------|-----------|
|               |    | 合計           | 徒歩         | バス         | タクシー     | 車           | 自転車        | その他      | 無記入       |
| 1性別           | 合計 | 155<br>100.0 | 49<br>31.6 | 32<br>20.6 | 3<br>1.9 | 106<br>68.4 | 12<br>7.7  | 8<br>5.2 | 10<br>6.5 |
|               | 男性 | 75<br>100.0  | 23<br>30.7 | 8<br>10.7  | 1<br>1.3 | 59<br>78.7  | 6<br>8.0   | 2<br>2.7 | 3<br>4.0  |
|               | 女性 | 80<br>100.0  | 26<br>32.5 | 24<br>30.0 | 2<br>2.5 | 47<br>58.8  | 6<br>7.5   | 6<br>7.5 | 7<br>8.8  |
| 2-1-2前期/後期    | 合計 | 151<br>100.0 | 48<br>31.8 | 30<br>19.9 | 3<br>2.0 | 104<br>68.9 | 12<br>7.9  | 7<br>4.6 | 10<br>6.6 |
|               | 前期 | 55<br>100.0  | 10<br>18.2 | 15<br>27.3 | 1<br>1.8 | 43<br>78.2  | 2<br>3.6   | 4<br>7.3 | 5<br>9.1  |
|               | 後期 | 96<br>100.0  | 38<br>39.8 | 15<br>15.6 | 2<br>2.1 | 61<br>63.5  | 10<br>10.4 | 3<br>3.1 | 5<br>5.2  |

図表5-3 買い物の際の運転者

| 上段:度数<br>下段:% |    | 24-3買い物の際の運転者 |            |            |            |            |            |          |          |            |
|---------------|----|---------------|------------|------------|------------|------------|------------|----------|----------|------------|
|               |    | 合計            | 自分         | 配偶者        | 息子         | 娘          | 嫁          | 婿        | その他      | 無記入        |
| 1性別           | 合計 | 155<br>100.0  | 47<br>30.3 | 27<br>17.4 | 34<br>21.9 | 20<br>12.9 | 18<br>11.6 | 6<br>3.9 | 8<br>5.2 | 40<br>25.8 |
|               | 男性 | 75<br>100.0   | 43<br>57.3 | 6<br>8.0   | 17<br>22.7 | 10<br>13.3 | 6<br>8.0   | 1<br>1.3 | 3<br>4.0 | 14<br>18.7 |
|               | 女性 | 80<br>100.0   | 4<br>5.0   | 21<br>26.3 | 17<br>21.3 | 10<br>12.5 | 12<br>15.0 | 5<br>6.3 | 5<br>6.3 | 26<br>32.5 |
| 2-1-2前期/後期    | 合計 | 151<br>100.0  | 46<br>30.5 | 27<br>17.9 | 34<br>22.5 | 19<br>12.6 | 18<br>11.9 | 6<br>4.0 | 7<br>4.6 | 39<br>25.8 |
|               | 前期 | 55<br>100.0   | 23<br>41.8 | 10<br>18.2 | 11<br>20.0 | 7<br>12.7  | 4<br>7.3   | 1<br>1.8 | 4<br>7.3 | 11<br>20.0 |
|               | 後期 | 96<br>100.0   | 23<br>24.0 | 17<br>17.7 | 23<br>24.0 | 12<br>12.5 | 14<br>14.6 | 5<br>5.2 | 3<br>3.1 | 28<br>29.2 |

衣類等の購入

衣類や大きなものの購入に関して、どこで購入するか当てはまるもの全てを答えてもらったところ「村外の店」が82.6%とほぼ全体を占めた。次に多かったのは「子どもが届けてくれる」であったが15.5%に留まり、その他「村内の店」「通信販売」もそれぞれ10.3%、7.7%と少数であった。その際の交通手段で最も多かったのは村外であるだけに「車」73.5%、「バス」20.6%が大部分を占めその他の手段は合計しても11.0%と少なかった。「車」を利用すると答えた人で主な運転者は誰かとの問いには「自分」32.3%が最も多く、以下も食料品・日用品の購入時とほぼ同じであった。また、男女別では食料品等の購入と同様に公共交通を利用する女性が28.8%と男性の14.6%の倍であった。

図表5-4 衣類の購入場所

| 上段:度数<br>下段:%  |    | 25-1衣類の購入場所  |            |             |           |                    |          |           |
|----------------|----|--------------|------------|-------------|-----------|--------------------|----------|-----------|
|                |    | 合計           | 村内の店       | 村外の店        | 通信販売      | 子どもが<br>届けてく<br>れる | その他      | 無記入       |
| 1性別            | 合計 | 155<br>100.0 | 16<br>10.3 | 128<br>82.6 | 12<br>7.7 | 24<br>15.5         | 3<br>1.9 | 12<br>7.7 |
|                | 男性 | 75<br>100.0  | 7<br>9.3   | 67<br>89.3  | 3<br>4.0  | 8<br>10.7          | 1<br>1.3 | 4<br>5.3  |
|                | 女性 | 80<br>100.0  | 9<br>11.3  | 61<br>76.3  | 9<br>11.3 | 16<br>20.0         | 2<br>2.5 | 8<br>10.0 |
| 2-1-2前<br>期/後期 | 合計 | 151<br>100.0 | 16<br>10.6 | 125<br>82.8 | 12<br>7.9 | 24<br>15.9         | 3<br>2.0 | 11<br>7.3 |
|                | 前期 | 55<br>100.0  | 4<br>7.3   | 50<br>90.9  | 5<br>9.1  | 3<br>5.5           | -        | 3<br>5.5  |
|                | 後期 | 96<br>100.0  | 12<br>12.5 | 75<br>78.1  | 7<br>7.3  | 21<br>21.9         | 3<br>3.1 | 8<br>8.3  |

図表5-5 買い物の交通手段

| 上段:度数<br>下段:%  |    | 25-2買い物の交通手段 |           |            |          |             |          |          |            |
|----------------|----|--------------|-----------|------------|----------|-------------|----------|----------|------------|
|                |    | 合計           | 徒歩        | バス         | タクシー     | 車           | 自転車      | その他      | 無記入        |
| 1性別            | 合計 | 155<br>100.0 | 10<br>6.5 | 32<br>20.6 | 2<br>1.3 | 114<br>73.5 | 5<br>3.2 | 5<br>3.2 | 19<br>12.3 |
|                | 男性 | 75<br>100.0  | 4<br>5.3  | 10<br>13.3 | 1<br>1.3 | 62<br>82.7  | 2<br>2.7 | 1<br>1.3 | 7<br>9.3   |
|                | 女性 | 80<br>100.0  | 6<br>7.5  | 22<br>27.5 | 1<br>1.3 | 52<br>65.0  | 3<br>3.8 | 4<br>5.0 | 12<br>15.0 |
| 2-1-2前<br>期/後期 | 合計 | 151<br>100.0 | 9<br>6.0  | 31<br>20.5 | 2<br>1.3 | 112<br>74.2 | 5<br>3.3 | 5<br>3.3 | 19<br>12.6 |
|                | 前期 | 55<br>100.0  | 2<br>3.6  | 13<br>23.6 | -        | 47<br>85.5  | 2<br>3.6 | 2<br>3.6 | 3<br>5.5   |
|                | 後期 | 96<br>100.0  | 7<br>7.3  | 18<br>18.8 | 2<br>2.1 | 65<br>67.7  | 3<br>3.1 | 3<br>3.1 | 16<br>16.7 |

図表5-6 買い物の際の運転者

| 上段:度数<br>下段:%  |    | 25-3買い物の際の運転者 |            |            |            |            |            |          |          |            |
|----------------|----|---------------|------------|------------|------------|------------|------------|----------|----------|------------|
|                |    | 合計            | 自分         | 配偶者        | 息子         | 娘          | 嫁          | 婿        | その他      | 無記入        |
| 1性別            | 合計 | 155<br>100.0  | 50<br>32.3 | 23<br>14.8 | 33<br>21.3 | 25<br>16.1 | 15<br>9.7  | 9<br>5.8 | 8<br>5.2 | 37<br>23.9 |
|                | 男性 | 75<br>100.0   | 45<br>60.0 | 2<br>2.7   | 15<br>20.0 | 11<br>14.7 | 4<br>5.3   | 2<br>2.7 | 4<br>5.3 | 12<br>16.0 |
|                | 女性 | 80<br>100.0   | 5<br>6.3   | 21<br>26.3 | 18<br>22.5 | 14<br>17.5 | 11<br>13.8 | 7<br>8.8 | 4<br>5.0 | 25<br>31.3 |
| 2-1-2前<br>期/後期 | 合計 | 151<br>100.0  | 49<br>32.5 | 23<br>15.2 | 33<br>21.9 | 25<br>16.6 | 15<br>9.9  | 9<br>6.0 | 7<br>4.6 | 35<br>23.2 |
|                | 前期 | 55<br>100.0   | 24<br>43.6 | 10<br>18.2 | 16<br>29.1 | 9<br>16.4  | 4<br>7.3   | 1<br>1.8 | 4<br>7.3 | 6<br>10.9  |
|                | 後期 | 96<br>100.0   | 25<br>26.0 | 13<br>13.5 | 17<br>17.7 | 16<br>16.7 | 11<br>11.5 | 8<br>8.3 | 3<br>3.1 | 29<br>30.2 |

## 冬季の買い物

冬季の買い物について、それ以外の季節と変化するかどうか尋ねたところ、「夏場と変わらない」が最も多く70.3%を占めた。一方で「回数を少なくする」が32.9%見られ、全体の3割で冬季における買い物外出頻度の縮小が見られた。それ以外の「店を変える」「交通手段を変える」は2.6%、1.3%とごく少数であった。

図表5-7 冬季の買い物

| 上段:度数<br>下段:% |    | 26冬季の買い物     |             |          |            |          |          |          |
|---------------|----|--------------|-------------|----------|------------|----------|----------|----------|
|               |    | 合計           | 夏場と変わらない    | 店を変える    | 回数を少なくする   | 交通手段を変える | その他      | 無記入      |
| 1性別           | 合計 | 155<br>100.0 | 109<br>70.3 | 4<br>2.6 | 51<br>32.9 | 2<br>1.3 | 5<br>3.2 | 6<br>3.9 |
|               | 男性 | 75<br>100.0  | 55<br>73.3  | 3<br>4.0 | 25<br>33.3 | -        | 3<br>4.0 | 1<br>1.3 |
|               | 女性 | 80<br>100.0  | 54<br>67.5  | 1<br>1.3 | 26<br>32.5 | 2<br>2.5 | 2<br>2.5 | 5<br>6.3 |
| 2-1-2前期/後期    | 合計 | 151<br>100.0 | 106<br>70.2 | 4<br>2.6 | 50<br>33.1 | 2<br>1.3 | 5<br>3.3 | 6<br>4.0 |
|               | 前期 | 55<br>100.0  | 36<br>65.5  | 1<br>1.8 | 18<br>32.7 | 1<br>1.8 | 2<br>3.6 | 3<br>5.5 |
|               | 後期 | 96<br>100.0  | 70<br>72.9  | 3<br>3.1 | 32<br>33.3 | 1<br>1.0 | 3<br>3.1 | 3<br>3.1 |

## 除雪

除雪は誰がするのかとの問いに、全体では「自分」が61.3%と最も多く半数以上を占めた。次が「子ども」22.6%、「隣近所の人」11.0%で、「村の除雪サービス」を利用していると答えた人は7.7%に過ぎなかった。男女別では、自分で行うと答えた男性が84.0%であったのに対し女性は40.0%にとどまり、男女で大きな差異が見られた。また子どもが行うと答えた男性16.0%に対して女性28.8%、隣近所の人に頼むと答えた男性6.7%に対して女性は15.0%と、体力的な負担の大きさから女性が近親者の除雪支援を受けている比率が高いことから、冬季の閉じこもり回避に除雪の支援が重要であることが確認された。

図表5-8 除雪者

| 上段:度数<br>下段:% |    | 27除雪者        |            |            |            |           |            |          |            |
|---------------|----|--------------|------------|------------|------------|-----------|------------|----------|------------|
|               |    | 合計           | 自分         | 隣近所の人      | 子ども        | 村の除雪サービス  | その他        | 除雪は必要ない  | 無記入        |
| 1性別           | 合計 | 155<br>100.0 | 95<br>61.3 | 17<br>11.0 | 35<br>22.6 | 12<br>7.7 | 17<br>11.0 | 2<br>1.3 | 11<br>7.1  |
|               | 男性 | 75<br>100.0  | 63<br>84.0 | 5<br>6.7   | 12<br>16.0 | 5<br>6.7  | 6<br>8.0   | -        | -          |
|               | 女性 | 80<br>100.0  | 32<br>40.0 | 12<br>15.0 | 23<br>28.8 | 7<br>8.8  | 11<br>13.8 | 2<br>2.5 | 11<br>13.8 |
| 2-1-2前期/後期    | 合計 | 151<br>100.0 | 93<br>61.6 | 17<br>11.3 | 34<br>22.5 | 12<br>7.9 | 17<br>11.3 | 1<br>0.7 | 11<br>7.3  |
|               | 前期 | 55<br>100.0  | 36<br>65.5 | 6<br>10.9  | 15<br>27.3 | 3<br>5.5  | 6<br>10.9  | -        | 3<br>5.5   |
|               | 後期 | 96<br>100.0  | 57<br>59.4 | 11<br>11.5 | 19<br>19.8 | 9<br>9.4  | 11<br>11.5 | 1<br>1.0 | 8<br>8.3   |

## 情報収集、社会参加

新聞の購読については、「読む」が78.2%、「読まない」が16.1%を占めた。テレビの視聴の有無に関しては78.7%が「よく見る」と答え、「時々見る」16.1%、「それほど見ない」4.5%、「見ない」と答えた人はいなかった。どちらも男女差はほとんど見られなかった。

厚田村の広報誌を読むかとの問いには、93.5%と多くの人々が「読む」と答えており、地元の情報に関する関心の高さがうかがえた。また選挙には投票に行くかどうかとの質問にも、「いつも行く」97.4%、「時々行く」1.9%とほぼ全員が投票に行くに答えていた。

世の中に関心があるかどうかの問いに対しては、「いろいろ関心がある」と答えた人が68.4%と7割近くに達し、「年金や医療など、老人に関係のあるものだけ関心がある」は17.4%であった。上の質問と合わせて見ても情報を収集しようという意欲や参政への意欲の高さがうかがえる。反対に社会の動向について関心がないと答えた人は「あまり関心がない」7.7%、「ほとんど関心がない」3.9%と合わせて11.6%に当たる20名弱であった。男女別では年金・医療等に関心があると答えた女性22.5%が男性の12.0%を2倍近く上回っていたが、その他の差は見られなかった。

図表5-9 新聞の購読

| 上段:度数<br>下段:% |    | 28新聞の購読      |             |            |           |
|---------------|----|--------------|-------------|------------|-----------|
|               |    | 合計           | 読む          | 読まない       | 無記入       |
| 1性別           | 合計 | 155<br>100.0 | 122<br>78.7 | 25<br>16.1 | 8<br>5.2  |
|               | 男性 | 75<br>100.0  | 62<br>82.7  | 10<br>13.3 | 3<br>4.0  |
|               | 女性 | 80<br>100.0  | 60<br>75.0  | 15<br>18.8 | 5<br>6.3  |
| 2-1-2前期/後期    | 合計 | 151<br>100.0 | 119<br>78.8 | 24<br>15.9 | 8<br>5.3  |
|               | 前期 | 55<br>100.0  | 41<br>74.5  | 8<br>14.5  | 6<br>10.9 |
|               | 後期 | 96<br>100.0  | 78<br>81.3  | 16<br>16.7 | 2<br>2.1  |

図表5-10 村の広報誌の購読

| 上段:度数<br>下段:% |    | 29村の広報誌の購読   |             |          |          |
|---------------|----|--------------|-------------|----------|----------|
|               |    | 合計           | 読む          | 読まない     | 無記入      |
| 1性別           | 合計 | 155<br>100.0 | 145<br>93.5 | 7<br>4.5 | 3<br>1.9 |
|               | 男性 | 75<br>100.0  | 72<br>96.0  | 3<br>4.0 | -        |
|               | 女性 | 80<br>100.0  | 73<br>91.3  | 4<br>5.0 | 3<br>3.8 |
| 2-1-2前期/後期    | 合計 | 151<br>100.0 | 141<br>93.4 | 7<br>4.6 | 3<br>2.0 |
|               | 前期 | 55<br>100.0  | 51<br>92.7  | 2<br>3.6 | 2<br>3.6 |
|               | 後期 | 96<br>100.0  | 90<br>93.8  | 5<br>5.2 | 1<br>1.0 |

図表5-11 テレビの視聴

| 上段:度数<br>下段:% |    | 30テレビの視聴     |             |            |          |     |          |
|---------------|----|--------------|-------------|------------|----------|-----|----------|
|               |    | 合計           | よく見る        | 時々見る       | それほど見ない  | 見ない | 無記入      |
| 1性別           | 合計 | 155<br>100.0 | 122<br>78.7 | 25<br>16.1 | 7<br>4.5 | -   | 1<br>0.6 |
|               | 男性 | 75<br>100.0  | 61<br>81.3  | 11<br>14.7 | 3<br>4.0 | -   | -        |
|               | 女性 | 80<br>100.0  | 61<br>76.3  | 14<br>17.5 | 4<br>5.0 | -   | 1<br>1.3 |
| 2-1-2前期/後期    | 合計 | 151<br>100.0 | 120<br>79.5 | 24<br>15.9 | 6<br>4.0 | -   | 1<br>0.7 |
|               | 前期 | 55<br>100.0  | 49<br>89.2  | 7<br>12.7  | 5<br>9.1 | -   | -        |
|               | 後期 | 96<br>100.0  | 77<br>80.2  | 17<br>17.7 | 1<br>1.0 | -   | 1<br>1.0 |

図表5-12 選挙の投票

| 上段:度数<br>下段:% |    | 31選挙の投票      |             |          |           |
|---------------|----|--------------|-------------|----------|-----------|
|               |    | 合計           | いつも行く       | 時々行く     | 最近は行っていない |
| 1性別           | 合計 | 154<br>100.0 | 150<br>97.4 | 3<br>1.9 | 1<br>0.6  |
|               | 男性 | 74<br>100.0  | 73<br>98.6  | 1<br>1.4 | -         |
|               | 女性 | 80<br>100.0  | 77<br>96.3  | 2<br>2.5 | 1<br>1.3  |
| 2-1-2前期/後期    | 合計 | 150<br>100.0 | 146<br>97.3 | 3<br>2.0 | 1<br>0.7  |
|               | 前期 | 54<br>100.0  | 52<br>96.3  | 2<br>3.7 | -         |
|               | 後期 | 96<br>100.0  | 94<br>97.9  | 1<br>1.0 | 1<br>1.0  |

図表5-13 社会への関心

| 上段:度数<br>下段:% |    | 32社会への関心     |             |                      |           |           |          |
|---------------|----|--------------|-------------|----------------------|-----------|-----------|----------|
|               |    | 合計           | いろいろ関心がある   | 年金、医療など老人関係の話題に関心がある | あまり関心がない  | ほとんど関心がない | 無記入      |
| 1性別           | 合計 | 155<br>100.0 | 106<br>68.4 | 27<br>17.4           | 12<br>7.7 | 6<br>3.9  | 4<br>2.6 |
|               | 男性 | 75<br>100.0  | 56<br>74.7  | 9<br>12.0            | 6<br>8.0  | 3<br>4.0  | 1<br>1.3 |
|               | 女性 | 80<br>100.0  | 50<br>62.5  | 18<br>22.5           | 6<br>7.5  | 3<br>3.8  | 3<br>3.8 |
| 2-1-2前期/後期    | 合計 | 151<br>100.0 | 104<br>68.9 | 27<br>17.9           | 10<br>6.6 | 6<br>4.0  | 4<br>2.6 |
|               | 前期 | 55<br>100.0  | 38<br>65.5  | 9<br>16.4            | 7<br>12.7 | 1<br>1.8  | 2<br>3.6 |
|               | 後期 | 96<br>100.0  | 68<br>70.8  | 18<br>18.8           | 3<br>3.1  | 5<br>5.2  | 2<br>2.1 |

趣味等

趣味や楽しみにしているものがあるかどうかについては、「ある」61.9%、「どちらともいえない」20.0%、「ない」11.0%であった。活動内容では男性で旅行やパークゴルフなど娯楽型の趣味をあげる人が多く見られたのに対し、女性では琴、書道など学習型の趣味をあげる人が多く見られた。また家庭菜園や花壇づくりといった園芸活動は男女に共通して見られた。

図表5-14 趣味や楽しみの有無

| 上段:度数<br>下段:%  |    | 33-1趣味や楽しみの有無 |            |            |               |           |
|----------------|----|---------------|------------|------------|---------------|-----------|
|                |    | 合計            | ある         | ない         | どちらとも<br>いえない | 無記入       |
| 1性別            | 合計 | 155<br>100.0  | 96<br>61.9 | 17<br>11.0 | 31<br>20.0    | 11<br>7.1 |
|                | 男性 | 75<br>100.0   | 47<br>62.7 | 7<br>9.3   | 17<br>22.7    | 4<br>5.3  |
|                | 女性 | 80<br>100.0   | 49<br>61.3 | 10<br>12.5 | 14<br>17.5    | 7<br>8.8  |
| 2-1-2前<br>期/後期 | 合計 | 151<br>100.0  | 93<br>61.6 | 16<br>10.6 | 31<br>20.5    | 11<br>7.3 |
|                | 前期 | 55<br>100.0   | 36<br>65.5 | 7<br>12.7  | 8<br>14.5     | 4<br>7.3  |
|                | 後期 | 96<br>100.0   | 57<br>59.4 | 9<br>9.4   | 23<br>24.0    | 7<br>7.3  |

図表5-15 趣味や楽しみ

| 趣味や楽しみ                 |                             |
|------------------------|-----------------------------|
| 男性                     | 女性                          |
| 園芸活動                   | カラオケ、おどり、パークゴルフ             |
| カラオケ                   | ゲートボール                      |
| カラオケ、外出                | ゲートボール、パークゴルフ               |
| カラオケ、声を出すこと            | ゲートボール、パークゴルフ               |
| ゴルフ、音楽                 | テレビ、新聞                      |
| スポーツ                   | 縫物に編物                       |
| デイサービス                 | パークゴルフ                      |
| テレビのスポーツ放送             | パッチワーク作り、カラオケ               |
| ニュース視聴                 | プロ野球、高校野球                   |
| パークゴルフ                 | 野菜作り                        |
| パークゴルフ                 | 運動、カラオケ                     |
| パークゴルフ、読書              | 夏は花作り                       |
| パソコン、ゴルフ、写真            | 歌、ドライブ、遊びに行く                |
| パチンコ(年1~2回)            | 花                           |
| 囲碁                     | 花づくり                        |
| 唄、旅行                   | 花札ゲーム                       |
| 温泉                     | 花壇づくり                       |
| 温泉                     | 花木                          |
| 温泉旅行、花園、植木、パークゴルフ      | 絵                           |
| 温泉旅行、老人会のあつまり          | 琴、折紙、押花、花                   |
| 家庭菜園、読書、カラオケ           | 犬と猫を捨てられていたのを育てる            |
| 花、野菜づくり                | 工作                          |
| 花木                     | 三味線、大正琴、その他                 |
| 海外旅行                   | 写真、琴教室、縫物(ミシンで)、夏は花の手入れと畑仕事 |
| 国内旅行、海外旅行              | 手芸                          |
| 趣味:読書、楽しみ:山に植林して手入れをする | 手芸、字を書く事                    |
| 小説を読む                  | 手芸、俳句                       |
| 植木                     | 書字                          |
| 新聞、テレビで政治の事            | 書道、ダンス                      |
| 専らテレビ、読書               | 書道、手芸、あみもの                  |
| 相手と活かしながら酒をのむ、テレビ      | 針仕事                         |
| 土いじり 盆栽                | 大勢の人と会う事、カラオケ、老人クラ          |
| 読書、カラオケ、尺八演奏、映画、野菜づくり  | 大正琴                         |
| 読書、俳句、旅行、釣り            | 大正琴                         |
| 浜にでかける事、お酒を飲む事         | 庭いじり主に花                     |
| 盆栽                     | 読書、園芸活動                     |
| 野菜づくり、花、いろいろ           | 編物                          |
| 油彩画、社交ダンス              | 編物、テレビ視聴                    |
| 旅行                     | 洋裁                          |
|                        | 旅行、温泉、民謡                    |
|                        | 老人クラブ活動参加、カラオケ              |
|                        | 老人の集り                       |



### 暮らしへの満足度、日常生活での不安

現在の暮らしへの満足度を尋ねたところ「ふつう」63.9%が最も多く、「満足している」は29.0%、「不満」2.9%であった。毎日の生活で不安を感じるかどうかについては「時々ある」が51.6%と最も多く、「よくある」11.6%と合わせて何らかの不安を感じる人が63.2%と半数を超えた。その不安の原因について当てはまるもの全てを選択肢から選んでもらったところ、最も多かったのは「自分の健康」で72.8%であった。次も同様に「自分または配偶者が倒れた時のこと」49.1%、「家族の健康」33.3%と自身や同居者の健康に不安を感じている人が大多数であった。次いで「生活費の不安」が26.3%、「人間関係」「住宅問題」を挙げた人はそれぞれ5.3%、2.6%と少数であった。このことから、健康と家計に関することが不安の原因として最も大きいことが言える。

図表5-16 現在の暮らしへの満足

| 上段:度数<br>下段:% |    | 34現在の暮らしへの満足 |            |            |          |          |
|---------------|----|--------------|------------|------------|----------|----------|
|               |    | 合計           | 満足している     | ふつう        | 不満       | 無記入      |
| 1性別           | 合計 | 155<br>100.0 | 45<br>29.0 | 99<br>63.9 | 6<br>3.9 | 5<br>3.2 |
|               | 男性 | 75<br>100.0  | 21<br>28.0 | 49<br>65.3 | 3<br>4.0 | 2<br>2.7 |
|               | 女性 | 80<br>100.0  | 24<br>30.0 | 50<br>62.5 | 3<br>3.8 | 3<br>3.8 |
| 2-1-2前期/後期    | 合計 | 151<br>100.0 | 44<br>29.1 | 96<br>63.6 | 6<br>4.0 | 5<br>3.3 |
|               | 前期 | 55<br>100.0  | 14<br>25.5 | 39<br>70.9 | 2<br>3.6 | -        |
|               | 後期 | 96<br>100.0  | 30<br>31.3 | 57<br>59.4 | 4<br>4.2 | 5<br>5.2 |

図表5-17 日常生活で不安を感じるか

| 上段:度数<br>下段:% |    | 35-1日常生活で不安を感じることもあるか |            |            |            |            |           |
|---------------|----|-----------------------|------------|------------|------------|------------|-----------|
|               |    | 合計                    | よくある       | 時々ある       | ほとんどない     | 全くない       | 無記入       |
| 1性別           | 合計 | 155<br>100.0          | 18<br>11.6 | 80<br>51.6 | 33<br>21.3 | 14<br>9.0  | 10<br>6.5 |
|               | 男性 | 75<br>100.0           | 9<br>12.0  | 42<br>56.0 | 14<br>18.7 | 6<br>8.0   | 4<br>5.3  |
|               | 女性 | 80<br>100.0           | 9<br>11.3  | 38<br>47.5 | 19<br>23.8 | 8<br>10.0  | 6<br>7.5  |
| 2-1-2前期/後期    | 合計 | 151<br>100.0          | 18<br>11.9 | 78<br>51.7 | 32<br>21.2 | 13<br>8.6  | 10<br>6.6 |
|               | 前期 | 55<br>100.0           | 7<br>12.7  | 32<br>58.2 | 11<br>20.0 | 2<br>3.6   | 3<br>5.5  |
|               | 後期 | 96<br>100.0           | 11<br>11.5 | 46<br>47.9 | 21<br>21.9 | 11<br>11.5 | 7<br>7.3  |

図表5-18 不安を感じること

| 上段:度数<br>下段:% |    | 35-2不安を感じること |            |            |                  |            |          |          |          |
|---------------|----|--------------|------------|------------|------------------|------------|----------|----------|----------|
|               |    | 合計           | 自分の健康      | 家族の健康      | 自分または配偶者が倒れた時のこと | 生活費の不安     | 住宅問題     | 人間関係     | その他      |
| 1性別           | 合計 | 114<br>100.0 | 83<br>72.8 | 38<br>33.3 | 56<br>49.1       | 30<br>26.3 | 3<br>2.6 | 6<br>5.3 | 2<br>1.8 |
|               | 男性 | 61<br>100.0  | 41<br>67.2 | 17<br>27.9 | 30<br>49.2       | 14<br>23.0 | 1<br>1.6 | 3<br>4.9 | 1<br>1.6 |
|               | 女性 | 53<br>100.0  | 42<br>79.2 | 21<br>39.6 | 26<br>49.1       | 16<br>30.2 | 2<br>3.8 | 3<br>5.7 | 1<br>1.9 |
| 2-1-2前期/後期    | 合計 | 111<br>100.0 | 81<br>73.0 | 38<br>34.2 | 55<br>49.5       | 28<br>25.2 | 3<br>2.7 | 6<br>5.4 | 2<br>1.8 |
|               | 前期 | 45<br>100.0  | 29<br>64.4 | 13<br>28.9 | 18<br>40.0       | 10<br>22.2 | 1<br>2.2 | 1<br>2.2 | -        |
|               | 後期 | 66<br>100.0  | 52<br>78.8 | 25<br>37.9 | 37<br>56.1       | 18<br>27.3 | 2<br>3.0 | 5<br>7.6 | 2<br>3.0 |

## 6. 今後の予定と厚田村への要望

### 厚田村に住み続けたいか

「今後も厚田村に住み続けたいか」と聞いた所、大多数の8割が「住み続けたい」と答えた。特に男性の方が女性より要望が強い。「他のところに行きたい」、「わからない」は1割に満たない。

図表6-1

| 上段:度数<br>下段:% |          | 44今後も厚田村に住み続けたいか |             |                |           |           |
|---------------|----------|------------------|-------------|----------------|-----------|-----------|
|               |          | 合計               | 住み続けたい      | できれば違うところに住みたい | わからない     | 無記入       |
| 1性別           | 合計       | 155<br>100.0     | 123<br>79.4 | 9<br>5.8       | 15<br>9.7 | 8<br>5.2  |
|               | 男性       | 75<br>100.0      | 62<br>82.7  | 4<br>5.3       | 7<br>9.3  | 2<br>2.7  |
|               | 女性       | 80<br>100.0      | 61<br>76.3  | 5<br>6.3       | 8<br>10.0 | 6<br>7.5  |
| 4家族状況         | 合計       | 155<br>100.0     | 123<br>79.4 | 9<br>5.8       | 15<br>9.7 | 8<br>5.2  |
|               | 一人暮らし    | 23<br>100.0      | 25<br>96.2  | 1<br>3.4       | 3<br>10.3 | -         |
|               | 夫婦のみ     | 74<br>100.0      | 60<br>81.1  | 4<br>5.4       | 6<br>8.1  | 4<br>5.4  |
|               | 未婚の子と同居  | 6<br>100.0       | 3<br>50.0   | 3<br>50.0      | -         | -         |
|               | 息子の家族と同居 | 29<br>100.0      | 21<br>72.4  | 1<br>3.4       | 4<br>13.8 | 3<br>10.3 |
|               | 娘の家族と同居  | 6<br>100.0       | 4<br>66.7   | -              | 1<br>16.7 | 1<br>16.7 |
|               | その他      | 11<br>100.0      | 10<br>90.9  | -              | 1<br>9.1  | -         |

### 今後の暮らし

今後「現在の暮らしを変える予定があるかどうか」を聞いた所、「全く予定が無い」が42.6%、「わからない」が34.2%で両者あわせると76.8%である。調査時点で70-80歳なので、今後、子どもとの同居などの予定が話し合われているのではないかと推測したが、「子どもとの同居予定」は5.8%で1割にも満たない。「一人暮らし」でも5.8%、「夫婦のみ」で9.6%である。むしろ「特養への入居予定」が6.5%（男性5人、女性5人）の方が多。 「一人暮らし」の4人、「夫婦のみ」の4人、「未婚子と同居」「娘家族と同居」各1人である。いずれにしても「一人暮らし」の5割弱、「夫婦のみ」の3割強が出来るだけ長く現在の暮らしを続けたいと願い、同じく「一人暮らし」の3割弱、「夫婦のみ」の4割弱は「どうしたいのか」の判断を決めかねている。

図表 6 - 2

| 上段:度数<br>下段:% |          | 43現在の暮らしを変える予定 |               |                  |          |            |            |            |
|---------------|----------|----------------|---------------|------------------|----------|------------|------------|------------|
|               |          | 合計             | 子どもと同居する予定がある | 特別養護老人ホーム等への施設入居 | その他予定がある | 全く予定がない    | わからない      | 無記入        |
| 1性別           | 合計       | 155<br>100.0   | 9<br>5.8      | 10<br>6.5        | 1<br>0.6 | 66<br>42.6 | 53<br>34.2 | 16<br>10.3 |
|               | 男性       | 75<br>100.0    | 5<br>6.7      | 5<br>6.7         | -        | 34<br>45.3 | 28<br>37.3 | 3<br>4.0   |
|               | 女性       | 80<br>100.0    | 4<br>5.0      | 5<br>6.3         | 1<br>1.3 | 32<br>40.0 | 25<br>31.3 | 13<br>16.3 |
| 4家族状況         | 合計       | 155<br>100.0   | 9<br>5.8      | 10<br>6.5        | 1<br>0.6 | 66<br>42.6 | 53<br>34.2 | 16<br>10.3 |
|               | 一人暮らし    | 29<br>100.0    | 1<br>3.4      | 4<br>13.8        | 1<br>3.4 | 15<br>51.7 | 8<br>27.6  | -          |
|               | 夫婦のみ     | 74<br>100.0    | 7<br>9.5      | 4<br>5.4         | -        | 25<br>33.8 | 29<br>39.2 | 9<br>12.2  |
|               | 未婚の子と同居  | 6<br>100.0     | -             | 1<br>16.7        | -        | 4<br>66.7  | 1<br>16.7  | -          |
|               | 息子の家族と同居 | 29<br>100.0    | 1<br>3.4      | -                | -        | 11<br>37.9 | 11<br>37.9 | 8<br>20.7  |
|               | 娘の家族と同居  | 6<br>100.0     | -             | 1<br>16.7        | -        | 4<br>66.7  | -          | 1<br>16.7  |
|               | その他      | 11<br>100.0    | -             | -                | -        | 7<br>63.6  | 4<br>36.4  | -          |

介護の希望場所 (MA)

先に見たように、対象者の8割が厚田にこれからも住み続けたいと思っている。そして「一人暮らし」や「夫婦のみ」の高齢者世帯でも今後「子どもとの同居」を考えている人は少ない。それでは、介護が必要になった時、どこで介護されたいと考えているのだろうか。最も多いのが「自宅」で43.8%、次に多いのが「厚田の特養」32.3%であった。人数にすれば50名（男性26名、女性24名）である。「厚田以外の特養や病院」が14.8%、「わからない」が18.7%である。

「自宅」は男女、全ての家族構成で希望が多いが、「厚田の特養」は「一人暮らし」や「夫婦のみ」の高齢者世帯ばかりでなく、「未婚子と同居」や「息子家族と同居」でも6割、5割弱と入所希望が多い。特養は厚田村の人々にとって、要介護状態になった時の安心できる受け皿として考えられているようである。これは石狩市と合併後も変わらないと思われる（ケアスタッフへのインタビュー）。

図表 6 - 3

